

ミクロネシア連邦等における日米豪人道支援・災害救援共同訓練

12月5日（土）から12月10日（木）の間、航空自衛隊は人道支援・災害救助活動に係る能力向上及び米豪空軍との相互運用性の向上を図る目的で、アメリカ合衆国グアム島（アンダーセン空軍基地）を拠点とし、ミクロネシア連邦等の離島において、日米豪共同の物資投下訓練を実施しました。

訓練では、上記の目的を達成するとともに、航空自衛隊と米豪空軍との協力関係がますます深まりました。

なお、投下された物資（様々な機関から米空軍等に寄付された食料品、衣料品、玩具、文具等）は、ミクロネシア連邦等の住民の皆様の中で役立てられます。



日米豪合同ブリーフィング



日米豪による物資の梱包



日米豪による物資の梱包



日米豪による物資の搭載



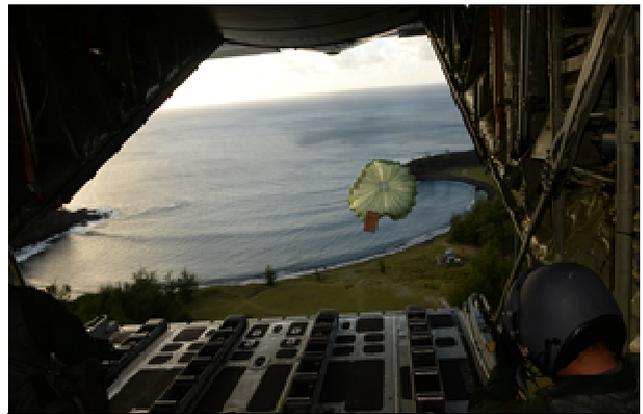
日米豪による物資の点検



物資投下地点の確認



物資の投下



物資の投下



日米豪 飛行隊長



クルーの交流